目次

まえがき
凡例
第1章　戦争倫理の論じ方……1
Ⅰ　はじめに――太平洋戦争と『きけわだつみのこえ』　1
Ⅱ　戦争倫理学とは何か　3
1　マシな悪としての戦争　3／2　非理想理論　4
Ⅲ　正戦論とは何か　5
1　開戦法規と交戦法規　6／2　正戦論史　8
Ⅳ　加害の正当化理由　10
1　刑法上の不処罰事由　11／2　負責性の正当化　12／3　マシな悪の正当化　13／4　主体相関的正当化　14／5　義務論的制約　16
Ⅴ　おわりに　18

第2章　現実主義と戦争倫理 …… 21

Ⅰ　はじめに――戦間期と『日の名残り』　21

Ⅱ　現実主義とは何か　23

1　国際関係と現実主義　23／2　勢力均衡　25／3　予防戦争　26

Ⅲ　開戦法規と現実主義　28

1　正当原因としての自己保存　28／2　戦争の違法化　30／3　国際社会の「現実」　31

Ⅳ　交戦法規と現実主義　33

1　国家理性　33／2　戦争の人道化　35／3　国際社会の「現実」　36

Ⅴ　おわりに　38

第3章　平和主義と戦争倫理 …… 40

Ⅰ　はじめに――ロシア戦役と『戦争と平和』　40

Ⅱ　平和主義とは何か　42

1　戦争は殺人　42／2　自己矛盾の問題　43／3　平和主義の類型　45

Ⅲ　開戦法規と平和主義　47

1　中立　47／2　集団安全保障　48／3　中立の是非　50

Ⅳ　交戦法規と平和主義　52

1　非暴力抵抗　53／2　苦役の問題　55／3　ヒトラー問題　56

Ⅴ　おわりに　57

第4章　正当原因 …… 60

Ⅰ　はじめに——第一次世界大戦と『西部戦線異状なし』　60

Ⅱ　正当原因としての自衛　62

1　自衛戦争　62／2　先制攻撃　65

Ⅲ　正当原因としての緊急避難　67

1　緊急避難　68／2　緊急避難の正当化理由　69／3　生存戦争　70

Ⅳ　伝統主義と修正主義　72

1　類推テーゼ　72／2　還元テーゼ　74／3　無血侵略の問題　75

Ⅴ　おわりに　77

第5章　必要性 …… 80

Ⅰ　はじめに——第二次世界大戦とチャーチル　80

Ⅱ　必要性条件　82

1　必要性　82／2　三項モデル　84

Ⅲ　最終手段条件　86

1　最終手段　87／2　経済制裁　90

Ⅳ　成功条件　92

1　成功　92／2　必要性と成功　94／3　名誉のための戦争　96

Ⅴ　おわりに　98

第6章　比例性 …… 100

Ⅰ　はじめに――フォークランド紛争とサッチャー　100
Ⅱ　比例性条件　101
1　比例性（開戦法規）　102
／2　結果の善悪　103
／3　比例性と成功　104
Ⅲ　正当原因としての刑罰　106
1　刑罰戦争　106
／2　応報と予防　107
／3　十分正当原因と寄与正当原因　110
Ⅳ　比例性の計算　111
1　比較可能性の問題　112
／2　機会費用の問題　114
Ⅴ　おわりに　117

第7章　戦闘員の地位 …… 119

Ⅰ　はじめに――英仏百年戦争と『ヘンリー五世』　119
Ⅱ　負責性の二説　121
1　区別　121
／2　脅威説と責任説　123
Ⅲ　伝統主義と修正主義・再論　125
1　平等テーゼ　125
／2　不平等テーゼ　126
／3　正戦論史・再論　127
Ⅳ　戦闘員の責任　130
1　無知の問題　130
／2　強制の問題　132
／3　責任のジレンマ　134
／4　兵役拒否　136
Ⅴ　おわりに　137

第8章　民間人の地位……139

Ⅰ　はじめに――南北戦争と『風と共に去りぬ』　139

Ⅱ　付随的損害　140

1　比例性（交戦法規）　141

／2　二重結果説　143

Ⅲ　戦闘員と民間人　145

1　部隊防護　146

／2　自国民と他国民　147

Ⅳ　意図的加害　150

1　最高度緊急事態　150

／2　最高度緊急事態の正当化理由　151

／3　核タブー　153

4　民間人の負責性　155

Ⅴ　おわりに　156

第9章　人道的介入……159

Ⅰ　はじめに――ルワンダ内戦とダレール　159

Ⅱ　人道的介入とは何か　161

1　保護する責任（R2P）　161

／2　国家主権と人権　163

／3　消極的義務と積極的義務　164

Ⅲ　他国民のリスク　166

1　消極的義務の優先性　166

／2　積極的義務の優先性　168

／3　受益者負担　170

Ⅳ　自国民のリスク　171

1　自国民と他国民・再論　171

／2　正しい意図　172

／3　原因者負担と応能負担　175

Ⅴ　おわりに　177

第10章　非対称戦争……179
Ⅰ　はじめに――キューバ革命とチェ・ゲバラ　179
Ⅱ　非対称戦争とは何か　181
1　正統な権威　181／2　二つの非対称性　183／3　非対称戦術　184
Ⅲ　弱者の戦い方　186
1　勝機への権利　187／2　必要性と成功・再論　188／3　最高度緊急事態・再論　189
Ⅳ　強者の戦い方　191
1　対テロ戦争　192／2　戦争か法執行か　193／3　標的殺害　195
Ⅴ　おわりに　197

第11章　遠隔戦争……199
Ⅰ　はじめに――ナポレオン戦争と『征服の精神と簒奪』　199
Ⅱ　遠隔戦争とは何か　201
1　無人兵器の登場　202／2　無人兵器の特徴　203
Ⅲ　遠隔戦争の是非　204
1　公平性の問題　205／2　閾値の問題　207／3　美徳の問題　209
Ⅳ　自律型兵器　210
1　自律型兵器の特徴　211／2　「自律」の意味　212／3　尊厳の問題　214／4　責任の問題　215
Ⅴ　おわりに　216

第12章　戦争の終わり方……218

Ⅰ　はじめに――スペイン内戦と『誰がために鐘は鳴る』　218
Ⅱ　終戦法規　220
1　開戦法規と終戦法規　221
／2　最終手段・再論　222
／3　比例性・再論　224
Ⅲ　戦後法規　226
1　裁判　226
／2　賠償　228
／3　和解　229
／4　復興　231
Ⅳ　戦争倫理・再論　232
1　現実主義と戦争倫理・再論　232
／2　平和主義と戦争倫理・再論　234
Ⅴ　おわりに　236

あとがき
引用・参考文献
索　引